

---

○ベトプティック点眼液 [外], ▼ケルロング錠 [内]

---

【重要度】★ 【一般製剤名】ベタキソロール塩酸塩 (U) betaxolol hydrochloride 【分類】緑内障・高眼圧症治療剤

【単位】○0.5%点眼 [1本5mL], ▼5mg・▼10mg/錠

【常用量】■内服: 1回5~20mg

【用法】■内服: 分1 ■点眼: 1回1滴, 1日2回点眼

【透析患者への投与方法】50%に減量 (3,12)

【保存期腎不全患者への投与方法】減量を考慮 (U) 【その他の報告】GFR<10mL/min: 50%に減量 (3,12)

【特徴】■点眼: 眼圧降下作用を有し、その作用は長時間持続し、1日2回の点眼で緑内障及び高眼圧症患者の眼圧を良好に低下させる。β1受容体選択性遮断薬のため呼吸器疾患を合併する患者に対しても使用が可能であり、他の全身性副作用も比較的少ない。■内服: β1選択的遮断剤。持続した降圧効果が得られる。ISAなし。MSAなし。

【主な副作用・毒性】喘息発作、心不全の増悪、完全房室ブロック、心胸比拡大、徐脈、頭痛、眩暈、ふらふら感、倦怠感、中性脂肪値上昇、肝機能異常

【F】80~89% (U,10) 89% (13) 89±5% (1)

【tmax】2~4hr (13) 【Cmax】20mg 単回経口投与時 50ng/mL (13)

【代謝】O-脱アルキル化され、さらに酸化・水酸化される軽度がメインで、ごく一部 (3%) 生成する水酸化体のβ遮断作用は未変化体の50% (11)

【排泄】尿中未変化体排泄率 15% (10,13) 80~90% (12) 10~17% (11) 80%以上 (U) 【CL】0.29±0.06L/hr/kg [po] (1) 327mL/min (10) 4.7mL/min/kg で加齢により低下 (13) 【非腎CL/総CL】85% (10)

【t1/2】14~22hr、terminal t1/2: 18hr (10) 13~24hr (11) 14~22hr で加齢により延長 (13) 15~20hr (12) 【透析患者の t1/2】31hr (10) 18~24hr (12)

【蛋白結合率】50% (10,11) 55% (13) 45~60% (12) 50~55% (U) 51~54% (1)

【Vd】8.25L/kg (10) 4.9~9.8L/kg (13) 5~10L/kg (12) 6.12±0.44L/kg (11) 6.1±0.8L/kg (1)

【MW】307.4 (free base)

【透析性】透析性は低いと思われる (5) 除去率は低い (U)

【pKa】9.5 【O/W 係数】4.03 [1-オクタノール/buffer, pH7.0] (1)

【更新日】20160810

---

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。